

令和6年度 第1回東海市観光ビジョン推進委員会 議事録

1 日 時 令和6年（2024年）9月11日（水）

午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 東海市役所 501会議室（5階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

佐野 安信、築波 敬子、中野 佳彦、村瀬 謙治、高谷 周一、
高橋 寿征、西本 賢史、遠藤 秀紀、伊藤 春子

(2) オブザーバー（敬称略）

渡邊 亨介（オンライン）

(3) 事務局

東海市役所：小笠原 環境経済部長、芦原 商工労政課長

佐藤 商工労政課統括主任、小野 商工労政課主任

東海市観光協会：野口 事務局長

4 欠席者（敬称略）

芦木 浩隆

5 議 題 別紙 次第のとおり

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 0人

8 会議内容

(1) あいさつ【次第 1】

小笠原環境経済部長からあいさつを行った。

(2) 自己紹介

委員・事務局の順に自己紹介を行った。

(3) 議 事

ア 委員長等の選出について【次第2-(1)】

佐野委員から遠藤委員を委員長、伊藤委員を副委員長にとの推薦があり、承認を受け決定した。

イ 観光ビジョンについて

観光ビジョン推進委員会に初参加の方もいるため、委員長からの求めがあり、佐藤統括主任から観光ビジョンについて説明した。

ウ 観光の現状について【次第 2-(2)】

小野主任から資料の「東海市観光ビジョンの成果指標について」を使用し、観光の現状について説明した。

高橋委員：飲食店業界全体としてコロナ禍明け、ずっと上昇傾向であった売り上げが最近緩い減少傾向にある。物価の上昇などにより、外食を控えよう・物の消費を控えようという消費者心理が見える。

佐野委員：コロナ期間を経て旅行の申し込み方法等が大きく変わっている。

ネットでの旅行申込が一般的になり、ネットを使えない方が路面店舗に来店する。

また、バスの運転手不足により、バスの予約が取れない現状がある。

中野委員：外国人のツアーだと外国人がバス運転手のこともある。

宿泊については戻ってきているが、個人の方が多い。

フロントでの聞き取りによると市内宿泊者の来訪地としてレゴランドが多く感じる。

ホテル業界は、災害の影響を受けやすく、8月の「南海トラフ地震臨時情報」(巨大地震注意)や先日の台風10号では、多くの宿泊予定者が旅行をキャンセルしてしまった。

イ 重点プロジェクトについて【次第 2-(2)】

佐藤統括主任から資料の「東海市観光ビジョン重点プロジェクト」を使用し、観光の現状について説明した。

西本委員：市内在住の外国人のお客様が増加傾向である。

向山地域の観光について、イチゴやブルーベリー、イチジク、ブドウ、お花等様々なコンテンツがあるため磨き上げを行い、農業分野で集客できるような地区を目指していきたい。

築波委員：国際交流協会が開催している日本語教室にきている方たちの話を聞くと桜など季節の花を見に公園だったり、聚楽園公園の大仏だったりを喜んで訪れているようだ。

村瀬委員：山車まつりについて、昨年コロナ禍明け初めて集客をして行っただが、やはり5年前より参加者が若干減っていると感じる。

高橋委員：「四季イベントプロジェクト」について、今年度実施した桜まつりは東海市イベント協力会として出店取りまとめ等を行っているが、とても盛況であり、出店者からも大変好評であった。次年度以降もブラッシュアップを行い盛り上げていきたい。

また、11月24日から聚楽園公園のもみじまつりでも同様に出店の機会があるが、さくらまつりに比べ課題が多く苦戦している。

「中心市街地プロジェクト」について、太田川駅西側の開発が進んでおり、太田川周辺の土地への注目が高まっているという話も聞いている。

太田川駅前イベント広場についても、認知度が上がっており、イベント事業者から利用してみたいという話を聞くことが増えた。

高谷委員：製造業であるため、観光と直接的な関係を持つことは難しいが、地域貢献として、様々な事業を通して協力が出来ればよいと考えている。コロナ禍明けで、イベントが元通りに戻ってきているものもあれば、そのままなくなっただけのものもあり、コロナの影響を感じる。地域の事業など継続していくことは容易ではないが、形を変えながら観光と結びついていくような動

きがあると良い。

伊藤委員：留学生の動向として、コロナ禍後、ネパールやインドネシアの方が全国的に増えている。

宗教上食べられるものに制限があるため、飲食店等も多様化しているように感じている。

遠藤委員：日本福祉大学でも同様に留学生の多様化を感じる。食事もそうであるが、礼拝堂等の施設も必要となるため、観光地としては整備が必要になってくることが想定される。また、そのような施設などを把握しておくことも必要である。

9 意見交換

高橋委員：空港関係者・交通網関係と定期的に意見交換する場はあるか。

事務局：観光部門としては、知多半島観光圏協議会のオブザーバーで名古屋鉄道が入ることはあるが、顔を合わせる機会は年に1回程度である。

渡辺委員：2023年の愛知県の観光消費額は過去最高の1兆円を記録した。

内訳としては、日本人の消費額が多かった。2024年の観光消費額をみると最近になってようやく外国人の消費額が増えてきている。

愛知県としてコンテンツ作りに力を入れ、観光客の誘致につなげていきたい。

10 その他

(1) 今後の事業予定

今後の事業予定について説明した。(リアル謎解きゲーム、全国工場夜景サミット)

以上